

スマートレシート

**電子レシートサービス『スマートレシート』が
愛知県小牧市の株式会社三河屋様で導入決定！**

東芝テック株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：池田 隆之）が提供する電子レシートサービス「スマートレシート」は、POSシェア国内1位の強みを生かし、レシート情報（買い物履歴）をデータで受け取り、一元管理するスマートフォンアプリです。

これまで紙で発行されていたレシートの不便な面（財布の中での管理や、家計簿などへの二次利用に手間がかかる点）を解消することで顧客満足度を向上し、店舗側にとってはレシート用紙のコスト削減にもつながるソリューションとなります。

本サービスは国内で採用事例が増加しており、このたび、株式会社三河屋（本社：愛知県小牧市、代表取締役社長：佐藤 伸宏）でも、愛知県内のスーパーマーケットとして初めて導入されることとなりました。

三河屋様は、こだわりの商品をお値打ち価格で取り揃え、お客様に喜んで頂くことをモットーに、お店を通して豊かで楽しい街作りに貢献しています。

佐藤社長は、「良い商品と合わせて良いサービスが大切です。毎日利用して頂くお客様の利便性向上とお得な買物をして頂くために、レシートの電子化に踏み切りました。環境面でもこれからの社会に不可欠なものになっていくと思います」と導入理由についてお話し頂きました。

現在、政府は、スマートフォンを介したデータの利活用を見据えて標準規格化を行い、データの統一化を進める動きが起きております。キャッシュレス・ポイント還元事業などでキャッシュレス化も推進し、電子決済サービスの利用が増えてきました

しかしその一方で、買物時のレシートの電子化は遅れていましたが、消費者の利便性向上、ビッグデータの活用を目的に、社会インフラとしての注目度が高まり、電子レシートを採用する小売企業が増えていきます。

利用企業数が増える中で、さらなる利用者の利便性向上のためスマートレシートでは、セルフメディケーション税制の申告に使える機能を実装し、また「Tポイント」のスマホアプリと連携を予定するなどデータ活用の幅を広げております。

今後も月数社ペースでの稼働開始が予定されており、数年以内のアプリ利用者数100万人達成をめざします。
＜導入実績（2020年1月31日現在）＞

コープ東北の4生協、とりせん、カメガヤ、ユニバースなど89社793店舗、19万人

**お客様
満足度アップ**

利便性の高いサービスで他店との差別化がはかれます。



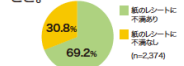
**紙レシートの
費用を軽減**

会員数が増えるほど、レシート用紙の消費が少なくなります。

お客様の声

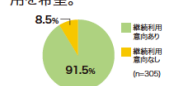
紙のレシートへの不満

69.2%のお客様が何らかの不満があり、最も多いのは「レシートでお財布が膨らむ」こと。



**スマートレシートの
利用意向**

91.5%のお客様が継続利用を希望。



財布の中にレシートが溜まらないのがうれしい

よくレシートを無くしてしまい、家計簿につけるときに困っていましたが、スマートレシートだと無くすることがないので便利です。(25歳・女性)

レシートを捨てる手間が省けるし、いつでもスマホから見られるので楽

キャンペーンへの応募も、レシートから対象商品が見やすく、直接そのサイトに行けるので便利。(38歳・女性)

必要なレシートをうっかり捨ててしまう心配がなくなりました

後から簡単に見直すことができるので、私にはぴったりのアプリです。(48歳・女性)



「私たちの素晴らしい商品、サービスによって、お客様・従業員・関係する世界の人々のより豊かな暮らしの実現に寄与する」を経営理念に、社員が一致協力して、お店を通して“豊かで楽しい街作り”に貢献する。



お得なポイントカードやWebチラシは、お客様に好評。スマートレシート導入でさらなるサービス向上を目指す。



産地、生産者、製造工程にこだわり 厳選した食材でワンランク上の食卓作りを支援！

株式会社三河屋は、1971年3月に愛知県小牧市で創業。直営で「Mikawayaya」、「ビッグリブ」、「パワーズ」、「Aマートアブヤス」の13店舗を展開している。

厳選された本格食材でワンランク上の食卓を飾って頂き、至福の一時を味わって頂く。三河屋は、良い品物をお値打ち価格で提供し、食を通して幸せをお届けしています。

まず、食品本来の素材を生かすために産地と生産者、製造工程にこだわり、全国の逸品を提供。自社開発した健康食品や天然調味料なども取りそろえ、高品質で価値ある商品をお客様へお届けすることを心がけています。

お客様に喜んで頂ける店作りを続けるために、商品だけでなくサービス面にも力を入れています。

お買上200円毎に1ポイント貯まるポイントカードもその一つ。貯まったポイントに応じてお買い物券と交換しています。また、買い物券以外にも、カタログ商品との交換をすることもできます。

そして今回、お客様の利便性をさらに高めるために、スマートレシートを導入して頂きました。Webチラシなどと合わせて、商品単位の販促を行えるスマートレシートに大きな期待が寄せられています。

<http://socone.jp/mikawayaya/>

「スマートレシート」とは

東芝テックが開発した「スマートレシート」は、通常は紙として提供される買い上げ商品の明細レシートを電子化し、電子レシートセンターがデータとして預かり、買い物客が自分のスマートフォンのアプリですぐにレシート内容を確認することができる仕組みです。

また、電子レシート上で購買証明を発行しスマホで応募できるキャンペーン機能や、購入履歴を基にターゲットを選定して配信するオンラインクーポン機能、購入金額に応じて自動押印するデジタルスタンプカード機能といった、新たな販促プラットフォームの提供により、導入企業は集客力向上や顧客満足度向上が期待できます。

今後は、お薬手帳との連携、レシートの多言語対応、購買情報のビッグデータ活用へも、つなげていく予定です。

日本で最初にスマートレシートを採用頂いたみやぎ生協様では、「スマートレシート」の登録者数が36,000人（20年1月末時点）を突破した上、一度利用した方の91.5%の方が継続を希望するなど好評頂いております。

「スマートレシート」の使い方

① アプリをダウンロードして会員登録



② レジにてバーコードを提示*



*自社ポイントカードと連携することができます。

③ いつも通りお支払い



④ スマホでレシート確認



「スマートレシート」の詳細はこちら <https://www.smartreceipt.jp/>

本件に関する報道関係者のお問い合わせ先

東芝テック株式会社 リテール・ソリューション事業本部 サービスソリューション推進部（長谷川・北川）
TEL 03 (6830) 9297 URL: <https://www.toshibatec.co.jp/>